

奄美大島・喜界島農業の動き

■令和6年5月

1 たんかんの病害虫防除に対するドローン利用技術プロジェクトがスタートアップ！

4月30日，県園振協大島支部が「たんかんに対するドローン病害虫防除技術実演・計画検討会」を開催しました。普及指導協力委員と奄美柑橘クラブ員に呼びかけ，当日は関係者を含む約40名が参加しました。奄美市の果樹園でドローンの散布作業の実演見学後，現在の農薬登録状況や地元での受託企業の方針等について説明を聞き，合意形成が図られ，今期から本格的に取り組む実証試験の進め方を全体で確認するキックオフ会議となりました。今年度の重点テーマとして活動を強化していきます。



ドローンによる散布実演



実演現場での意見交換



キックオフミーティングの状況

2 パッションフルーツ栽培で瀬戸内町と喜界町の生産者が意見交換

5月17日、喜界町営農支援センターにおいて、瀬戸内町と喜界町のパッションフルーツ生産者が相互に栽培について意見交換を行いました。今年は気象条件の影響等で着花数が少なく、お互いにどのような栽培に取り組んだのか等活発な意見交換がなされました。その後、喜界町内のほ場を視察し、このような状況の中でも着果量がある程度確保されているほ場も見られ、どういった管理をしたのか等熱心に聞き取りを行いました。今回、意見交換等を行った内容は、次年度の栽培へ生かしていきたいと考えます。



取組状況の説明



ほ場での聞き取り



生育状況の確認